

平成30年度第2回沼田市総合教育会議会議録

1 開催日

平成31年2月21日（木）

2 場所

中央公民館学習相談室

3 出席者

沼田市長 横山 公一

沼田市教育委員会

教育長 大竹 孝夫

委員 星野 貴昭

委員 平形 昇

委員 中村 俊生

事務局

坂田誠二教育部長、藤井隆庶務課長、富田孝学校教育課長、平井通晃社会教育課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐

4 開会 午前9時30分

5 市長あいさつ

6 会議録署名人の指名

市長が中村委員を指名

7 議事

議長：横田市長

議題

(1) 平成31年度実施予定事業について

○各課長から説明

中村委員)

- ・重点施策や主な事業の教育部関連のほかに、教育費にはどのような事業があるのか。

庶務課長)

- ・職員人件費や施設管理などの経常経費のほか、重点施策や主な事業にピックアップされなかった多くの事業がある。

平形委員)

- ・文化財保護課の民俗芸能保存事業について、92万円という予算額であるが、これは現状の事業を維持する経費であろうと思われる。関係者の高齢化が進んでいることから、後世に引き継ぐための経費をスクラップアンドビルドしながら、もっと予算化してほしいと思う。

文化財保護課長)

- ・大変有難い貴重な意見をいただいたので、今後、各保存会の意見を聴きながら検討したい。

星野委員)

- ・学校図書館充実事業について、図書システムを順次、学校に導入している事業だと思うが、全ての学校に導入するのにどのくらいの予算が必要か。

学校教育課長)

- ・平成31年度は5校に設置する予算である。32年度が2校、33年度が2校に導入することで完了するので、概算で100万円弱の予算が必要である。

星野委員)

- ・現状の学校数で想定しているのか。

学校教育課長)

- ・現状の学校、全てに導入する予定である。

星野委員)

- ・数日前に、小中学生に携帯電話を持たせるような文部科学大臣の発言が報道されていたが、子どもたちが直接社会と繋がるリスクが大きい気がするが、どう考えているか。

教育長)

- ・沼田市は携帯電話を子どもたちに持たせないルールづくりをしているが、今の子どもたちにネット利用について全く迎合しては駄目だということはある得ない訳で、賢く使える子どもをどう育てるかが大事なポイントである。それと端末を学校現場に持ち込むこととは別の問題である。

中村委員)

- ・教育費が昨年度よりも約21億円増額となっているが、これは給食センター整備事業や(仮称)利南運動広場整備事業の影響ということで良いか。

市長)

- ・そのとおりである。

星野委員)

- ・市役所がテラス沼田へと移転するが、窓口等のいわゆる営業時間を午後8時まで延長するなど変更する予定はあるのか。

市長)

- ・市民課や税務課の窓口対応時間延長について、様々な意見があることを認識はしているが、当面、変更する予定はない。

中村委員)

- ・歴史資料館管理事業について、この事業費の中には人件費は含まれていないと考えて良いのか。

文化財保護課長)

- ・正職員の人件費は含まれていないが、嘱託員報酬等は含まれている。

異議なく承認

(2) その他

星野委員)

- ・白沢プールについて、平成31年度は休止という説明を受けているが、今後の予定はどうなっているのか。

市長)

- ・白沢プールは修繕に多額の費用が必要となるため、沼田市公共施設等総合管理計画に基づき廃止の方向で考えている。

平形委員)

- ・観光宣伝事業について、沼田市だけではなく利根沼田として沼田市が核となって事業展開した方が良いのではないか。

市長)

- ・平形委員のご意見のとおりであるが、アクションを起こしていくためには、まず観光協会の法人化が必要であると考え、平成31年度にそのための費用を予算化した。DMO（観光地域づくりとマーケティングを行う官民一体の観光地経営体）としての組織が必要であると考えている。

平形委員)

- ・望郷ラインの県道化はどうか。

市長)

- ・望郷ラインは償還も終わるので県道へ移管したいとお願いしているが、なかなか難しい状況である。

8 その他

市長が平成31年度沼田市当初予算について総体を説明

9 閉会 午前10時20分